

JRC活動って

どんなことするの？

どんなことができるの？

青少年赤十字（JRC）に加盟したけど、加盟したいけど、その後どんな活動すればいいのかな？と考えている皆さんへ、活動事例を紹介します。

おそらく「この程度の活動なら今でもやっている！」と思われるでしょう。

そうです、学校の教育活動は「生きる力」を育てているのですから、『自分で気づき・考え・実行する』という青少年赤十字の活動は、「生きる力」そのものであり、目標は共通なのですから。

それでは、具体的に「**学校全体で**」「**委員会活動で**」「**学年・学級で**」という3つのジャンルに分けて活動を紹介します。

明日からの青少年赤十字活動に活かしてください。

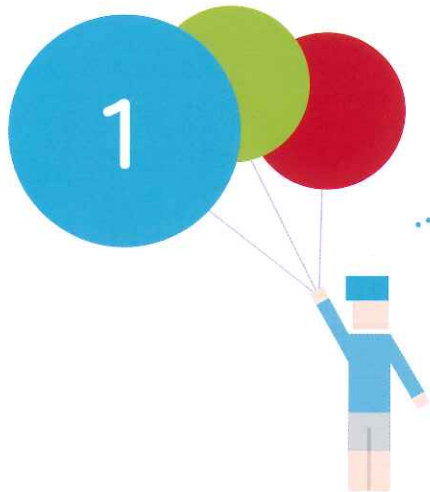


JRCに加盟するには… 日本赤十字長崎県支部に「加盟します」と連絡するだけです。

電話：095-846-0680 事業推進課

ホームページ：<http://www.nagasaki.jrc.or.jp>





学校全体で



①集団登下校

リーダーは、自他の生命を尊重しながら安全な登下校ができるようガイドする。

②あいさつ運動

誰でも明るく積極的にさわやかなあいさつをかわす。

③町内クリーン作戦

地域の清掃活動を通じて環境に対する関心を高め、地域の一員であるという意識を高める。



④幼保小中連携

(加盟している幼稚園・保育園もあります)

近隣の幼稚園・保育園・小中学校との交流を通じて年齢に応じた自覚を高める。

⑤青少年赤十字集会

(委員会活動の紹介としてやっている学校があります)

「気づき・考え・実行する」に基づく活動を発表し、国際理解の実践化を図る。

⑥青少年赤十字登録式

(年度当初に行っている学校があります)

青少年赤十字の意義を確認し、赤十字の一員としての自覚をもつ。





委員会活動で 〔JRC委員会〕の活動として)



①安全な廊下歩行

委員会は、校内での安全に気をつけ、安全な生活が送れるようリードする。



②アルミ缶・ペットボトルのふたの回収

環境問題への理解と関心を深める。

③縦割り活動

異学年での掃除や遊びを通じて、仲間意識とリーダー性を育てる。

④募金活動

NHK海外助け合いや災害義援金の募金活動を通じて、助け合いへの関心を深め、ボランティア精神を育てる。

⑤V. S活動

(ボランティアサービス)

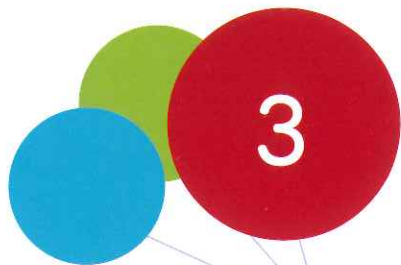
進んで人のため、学校のために役立つ活動がないか常に考え、参加を呼びかける。

⑥トレセンへの参加

(トレーニングセンター)

夏休みに行われる2泊3日のトレセンに参加して、リーダー性を養う。





3

学年・学級で



①特別支援学校・学級との交流

支援学校・学級との交流を通じて、一人一人のよさや違いを認め合い、共に生きる態度を養う。



②古切手・ベルマークの収集

施設へ送る車イス等を購入するための活動へとつなげる。

③車イス講習会・手話講習会

ブラインド体験や車イス体験及び手話を習うことを通じ、障がい者・高齢者への理解を深め、支援の方法を知る。

④老人ホームへの慰問

老人ホームを訪問して交流を深め、福祉体験を行う。

⑤独居老人への手紙

敬老の日やお正月に町内の独居老人へ手紙を送り、交流を図る。

